

### 3) 2018 年度国際協力推進プロジェクト

#### ①国際協力事業基金の積立

2017MHC 登山講習及び寄付金、講演料、物産展示販売の収益が**国際協力事業基金**に積立てられました。私達の小さな活動がネパールの青少年の**教育**の為に役立っています。

#### ②カトマンズのカレッジへ通学するクムジュン校を卒業した勤勉学生への奨学金及び奨学金事務局運営費支給

**2017年～2018年**MHC第21と22期奨学生12名の短期大学生の名簿と新奨学生5名については高校卒業証明書、卒業試験成績書、大学入学許可書などが届いています。



パサンダワ事務局長

カトマンズ盆地に在る短期大学へ進学する勤勉学生へパサンダワ事務局長が1人ずつ、そして1ヶ月毎に、学校生活の様子を確認し、2016年度は1人Rs3,000/月支給。MHC奨学生運営費 12名×(Rs3,000/月×12ヶ月)=Rs432,000 奨学金事務局運営費 Rs36,000/年 支給しています。

#### 1年目 新奨学生5名

7) **名前** : **ミグマ・タマン** (Mr. Mingma Tahering Tamang)

住所 : ソルクンブ クムジュン-4

学校名 : KIST College

専攻 : Management ⇒将来の希望 経営学 マネージャー



8) **名前** : **ナワン・チリン・シェルパ** (Mr Ngawang Chhiring Sherpa)

住所 : ソルクンブ クムジュン-2

学校名 : ST Lawrence college

専攻 : Science ⇒将来の希望 エンジニア



9) **名前** : **ペンバ・チレ・シェルパ** (Mr.Pemba Thile sherupa)

住所 : ソルクンブ クムジュン

学校名 : Xavier Inter national College

専攻 : Science ⇒将来の希望 医師



10) **名前** : **カミ・テンバ・シェルパ** (Mr. Kami Temba Sherpa)

住所 : ソルクンブ ナムチェバザール

学校名 : Kumari Engineering College

専攻 : Science ⇒将来の希望 エンジニア



11) **名前** : **ワンディ・シェルパ** (Mr.Wandi Sherpa)

住所 : ソルクンブ クムジュン-2

学校名 : Saipa lAcademy College

専攻 : Management ⇒将来の希望 ロッジ経営



#### 医学生5年目の奨学生1名

12) **名前** : **ツェリン・タシ** (Mr Tshering Tashi Sherpa)

住所 : Chabahil クムジュン

学校名 : **Nepal Medical Collage** (ネパール医科大学)



専攻 : MBBS5 year ⇒2018 年度インドでインターンシップ

②2 年目 MHC 奨学生 6 名

1) 名前 : チェワン・オアルム (Ms Chewang Palmu Sherpa)

住所 : Khumjung2

学校名 : St. Lawrence College

専攻 : Management ⇒将来の希望 ホテルマネージャー



2) 名前 : フ・ドルジ (Mr Fu Dorjee Sherpa)

住所 : Khumjung2

学校名 : St. Lawrence College

専攻 : Business⇒将来の希望 営業



3) 名前 : ニマ・ドカ (Ms Ngima Doka Sherpa)

住所 : Khumjung4

学校名 : Little Angels College

専攻 : Business & Hotel Management⇒将来の希望 経理



4) 名前 : ペンバ・テンジン (Mr Pemba Tenzing Sherpa)

住所 : Namche

学校名 : St. Lawrence College

専攻 : Science ⇒将来の希望 エンジニア



5) 名前 : サガット・バストラ (Mr Saugat Bastola)

住所 : Bakshila-7

学校名 : Golden Gate Int

専攻 : Science ⇒将来の希望 医師



6) 名前 : ツェリン・ワングチュ (Mr Tshering Wangchu Sherpa)

住所 : Khumjung 1

学校名 : Little Angels College

専攻 : Science ⇒将来の希望 医師



※1/23 カトマンズで激励夕食会を開催。第 21、22 期生  
全員が集まってくれました。



※全員、カトマンズの大学でホテル経営学、教育学コース、エンジニアコース、医師などを専攻し苦学しています。若い彼らが、ネパールの将来を背負って立つ事でしょう。

既にクムジュン校教師、デンボチェ、ロブジェ、ゴーキョなどのロッヂ経営者となっています。

※私達の小さな活動がネパールの青少年の教育の為に役立ち、彼らの生活の向上と、社会的地位の向上に役立つ事を願っています。

※パサン・ダワ事務局長から総会へのメッセージが届いています。

Dear President

&

**all the respected members of Matsumoto Himalaya Friendship Club (MHC)**

Many Greetings from Nepal

First of all I would like to thank Mr Masanori Suzuki President of MHC for the kind cooperation and support to mountain people. I would like to extend my best wishes to you all for a successful annual **general meeting of MHC 2018.**

Matsumoto Himalaya Friendship Club (MHC) has been supporting Nepal specially in Everest region in the field of education for **the last 22 years.**MHC has contributed tremendously for the **betterment of education of Khumbu.** MHC constructed hostel for Khumjung school in 2002.It has been providing financial assistance for electricity cost of the hostel, and by far the most important activity is **the Scholarship program that it MHC has been providing continuously since 1996 for the students of Khumbu** for their higher education. (after SEE)

It was great opportunity for me to connect with you **in 1996,** since then MHC have started to provide the scholarship support program continuously. **By 2017, 98** students have got the opportunity to pursue their higher education in Kathmandu from the scholarship support from MHC.

Khumjung school is government school and all the course was based in Nepali language medium. In 2011 on the occasion of Golden Jubilee, Local people initiated and changed the all course based in English Language. Now students are **getting education in English medium** so that children get same slandered of education like Kathmandu. Khumjung school is attempting to provide quality education in the mountain region, at the altitude of 3790 MTRS where there is limited government concern and facility. We are very lucky to have well wisher & supporter like Sir **Edmund Hillary's organization Himalayan Trust and organizations like MHC** who have been supporting to improve the education quality of the school and motivate its student & teachers.

略

I would like to thank Mr Suzuki San for organizing the **MHC Trekking group to Gokyo Everest** region in winter 2015 right after the earthquake. I believe, the MHC members Trekking group to **Everest region motivated many local and international people** and t gave a positive message to all that **"Nepal is safe for tourism"** after the earthquake.

We **appreciate your long time support and would like to thank all members of MHC and the people of Japan** for your continuous love, generosity and concern for the people of the Himalayas.

I wish you all for the good health.

**Thank you very much.**

**Pasang Dawa Sherpa**

親愛なる理事長と松本ヒマラヤ友好会（MHC）の皆様へ

ネパールからご挨拶致します

まず最初に、MHC 理事長鈴木雅則氏に、山岳民族への協力と支援の感謝申し上げたい。私は、**MHC2018 度総会が成功裏に終えるたことを、心より貴方に申し上げます。**

松本ヒマラヤ友好会（MHC）は、**過去 22 年間、エベレスト地域の教育分野で、特別にネパールを支援してきました。MHC はクーンブ地域の教育改善に大きく貢献してきました。MHC は 2002 年にクムジュンの学校の学生寮を建設。それ以来、学生寮の電気代の資金援助を提供していますが、最も重要な活動は、MHC が高等教育のためにクーンブ地域の学生のために 1996 年以来継続的に支給している MHC 奨学基金制度**です。

私は、**1996 年から、MHC が奨学基金制度を設立して以来、あなたと継続的に連絡を取り合う良い機会を得ました。2017 年までに、98 人の学生が、MHC からの奨学金支援を得て、カトマンズで高等教育を推進する機会を得ました。**

クムジュン学校は公立学校であり、すべてのコースは、それまでネパール語の媒体に基づいていました。創立 50 周年記念の 2011 年に、地元の人々には、**すべてのコースにおいて、英語を基本に、授業開始**を致しました。現在、学生は英語の媒体で教育を受けているので、子どもたちはカトマンズで行うような教育を受けています。クムジュンの学校は、政府の支援と学校施設が限られている標高 3790 メートルの山岳地帯において、質の高い教育を提供しようとしています。エドモンド・ヒラリー卿の組織するヒマラヤン財団や **MHC のような団体**のように、学校の教育の質を向上させ、学生と教師の熱意を支援してくれていることをとてもうれしく思います。

略

震災直後の 2015 年冬に、エベレスト・ゴーキョ地方に **MHC トレッキンググループ**を編成してくださった鈴木さんに感謝したいと思います。私は、**MHC のメンバーであるエベレストへのトレッキンググループは多くの国内外の人々に復興の動機**を与え、地震後に「**ネパール観光は安全です**」と、すべてへ向かって、肯定的なメッセージを送ったと思います。

私達は、ヒマラヤの人々の為の、長い間のご支援、皆様のご愛顧、寛大なご配慮に対して、日本及び **MHC の全会員の皆様**に心よりお礼を申し上げます。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

パサン・ダワ・シェルパ



2018.1.23MHC 奨学生激励会にて



エベレスト山麓に建つクムジュン校 MHC がネ教育省から表彰 MHC]学生寮3棟(2002年建設)



ヒラリー卿胸像と MHC 学生寮(左) ヒラリー夫人と 50 周年記念建物 現在の 1960 年建設のヒラリースクール建物

2002 年にクムジュン校内に建設した、学生寮以外のもう一棟、食堂台所棟は、クムジュン校運営委員会により、学生寮に改造されました。また、校庭北門入り口付近に、寮生全員が入れる、新食堂・台所を建設。Golden Jubilee House(50 周年記念建物)と名づけられました。2018 年度、学生寮に 63 名の学生が入寮、MHC 学生寮には、6 年生から 10 年生までの 23 名が入寮しています。

⑥MHC カトマンズ支部運営費 100,000 円/年 ・ ・ MHC 本部一般会計より

MHC ネパール支部は、ネパール政府公認の委員会となり、サンタラム・ポハレル氏が支部長として運営責任に当たり、TEL、FAX、メール、打ち合わせ会など事務所諸経費や 2017 年度は活動費として、100,000 円送金予定。



2018 年度の企画・MHC ネパール支部会員 176 名全員(名簿参照)協議

MHC-ネパール支部の企画を青年部が実行する

- ・ 献血活動
- ・ 川と都市の清掃活動
- ・ 学校訪問・教育文具配布、奨学金支給、
- ・ ネパール物産品の製作作業



MHC ネパール支部青年部



MHC ネパール支部主要メンバー